

研究課題:「がん医療の均てん化に資する緩和医療に携わる医療従事者の育成に関する研究」

課題番号: H19 - がん臨床 - 一般 - 002

主任研究者: 筑波大学大学院人間総合科学研究科 講師 木澤義之

1. 本年度の研究成果

1) 緩和ケアチームの基準の明確化に関する研究

わが国の緩和ケアチームの活動指針を示すために、関係者の意見を集約し合意を形成するために広く使われているデルファイ変法を用いて、緩和ケアチームの基準を作成するための研究を実施中である。9月までに文献検討、研究計画の立案、緩和ケアチーム基準(案)の作成、対象者27名のリクルートが終了し、11月に第1回目の調査票を配布した。今後は、12月にデータ解析を行い、1月にその結果を受けてパネルミーティングを実施予定である。

2) 緩和ケアにおける心理士および理学/作業療法士の役割に関するグループ・インタビュー

緩和ケアチームに関わるコメディカルに求められる能力および学習目標を明らかにするために、実際に緩和ケアチームで活動する医師・看護師を対象としたグループ・インタビュー研究を実施中である。10月に、心理士、理学/作業療法士についてそれぞれ「どのような知識を求めるか」「どのようなことを行って欲しいか」などについて意見を求める1時間半程度のグループ・インタビューを実施した。現在、逐語録の作成および第3者による逐語録確認作業が終了し、これから質的分析を開始する予定である。

3) 緩和ケアチーム診療に必要な各職種の能力と学習目標の作成

緩和医療学、精神腫瘍学、がん看護学、心理学、リハビリテーション医学の専門家が、これまでの知見や経験をもとに、緩和ケアチームの診療に必要なとされる各職種の学習目標を「目的」と「個別目標」をいう枠組みを用いて作成した。

4) 緩和ケアチーム対象の教育セミナー(ワークショップ形式)の開催

緩和医療の均てん化に向けて、緩和ケアチームの質の向上を目的に東京、大阪、福岡、浜松においてセミナーの実施を計画した。第1回目として地域がん診療連携拠点病院で活動する緩和ケアチームの医師、精神科医(または心理士)、看護師、薬剤師60名を対象とし、国立がんセンターがん対策情報センターと協力して11月18日に東京においてワークショップを実施した。学習形態は、受講者が自ら参加・体験すること、グループダイナミクスを活用して日頃の問題への気づきや解決方法を見出すことができることなどを重視し、グループワークやロールプレイを中心とした。プログラム内容は、緩和ケアチームの立ち上げ方、緩和ケアチームの抱える問題点の明確化、困難なコンサルティへの対応の仕方、自身が活動する緩和ケアチームの課題の明確化

とした。参加者は 15 施設 60 名であった。受講者によるワークショップ後の評価は (回収率 95%)、「すごく／まあ役立つ」と回答した者が 98%、「満足／まあ満足」と回答した者が 97%であり、概ね高い評価であった。しかし、自由記載に「医師・看護師以外の職種に関する内容を増やして欲しい」「作業時間が足りないセッションがあった」などの指摘もあったため、今後 3 回のワークショップではより質の高いものとなるよう、指摘された点や反省点を踏まえたプログラムに修正する予定である。

5) 看護師に対する啓発普及プログラム ELNEC (End-of-Life Nursing Education Consortium) 日本語版の開発

緩和ケアを専門としない看護師に緩和ケアに関する能力を教育するために、米国で開発された終末期看護における看護師に対する啓発普及プログラムである ELNEC (End-of-Life Nursing Education Consortium) 日本語を開発中である。9 月に翻訳作業が終了し、内容や表現がわが国に適用可能かどうかを、複数の緩和ケア看護の専門家により検討している。さらに、ELNEC を受講したことによる効果を検証するための尺度も開発中である。今後は、1 月に一大学病院においてパイロットスタディを行い、プログラムおよび尺度の実施可能性を検討する予定である。

2. 発表論文

- 1) Morita T, Murata H, Hirai K, Tamura K, Kataoka J, Ohnishi H, Akizuki N, Kurihara Y, Akechi T, Uchitomi Y, on behalf of the Japanese spiritual care task force. Meaninglessness in terminally ill cancer patients: a validation study and nurse education intervention trial. *J Pain Symptom Manage*. 2007; 34:160-170.
- 2) Asai M, Morita T, Akechi T, Sugawara Y, Fujimori M, Akizuki N, Nakano T, Uchitomi Y. Burnout and psychiatric morbidity among physicians engaged in end-of-life care for cancer patients: A cross-sectional nationwide survey in Japan. *Psycho-Oncology*. 2007; 16:421-428.
- 3) Miyashita M, Morita T, Shima Y, Kimura R, Takahashi M, Adachi I. Physician and nurse attitudes toward artificial hydration for terminally ill cancer patients in Japan: results of 2 nationwide surveys. *Am J Hosp Palliat Care*. 2007; 24(5):383-9.
- 4) Miyashita M, Morita T, Shima Y, Kimura R, Takahashi M, Adachi I. Nurse views of the adequacy of decision making and nurse distress regarding artificial hydration for terminally ill cancer patients: a nationwide survey. *Am J Hosp Palliat Care*. 2007; Jun 29:[Epub ahead of print].

- 5) Hamaguchi T, Okamura H, Nakaya N, Abe K, Abe Y, Umezawa S, Kurihara M, Nakaya K, Yomiya K, Uchitomi Y: Survey of the current status of cancer rehabilitation in Japan. Disabil Rehabil (in press)
- 6) Miyashita M, Sanjo M, Morita T, Hirai K, Kizawa Y, Shima Y, Shimoyama N, Tsuneto S, Hiraga K, Sato K, Uchitomi Y. Barriers to providing palliative care and priorities for future actions to advance palliative care in Japan: a nationwide expert opinion survey. J Palliat Med. 2007; Apr 10(2):390-9.

3. 研究組織

①研究者名	②分 担 す る 研 究 項 目	③最終卒業学校・ 卒業年次・学位 及び専攻科目	④所属機関及び現 在の専門 (研究実施場所)	⑤所属機関 における 職名
木澤 義之	緩和医療に携わる医療従事者および緩和ケアチームの育成に関する研究 (総括)	筑波大学・平成3年卒・学位なし・緩和医療学、総合診療医学	筑波大学大学院人間総合科学研究科 (筑波大学附属病院)	講師
森田 達也	緩和医療に携わる緩和医療専門医の育成に関する研究	京都大学・平成4年卒・学位なし・緩和医療学	聖隷三方原病院、緩和和支持治療科	部長
大西 秀樹	緩和医療に携わる精神腫瘍医の育成に関する研究	横浜市立大学・昭和61年卒・医学博士・精神腫瘍学、緩和医療学	埼玉医科大学、精神腫瘍科 (埼玉医科大学病院)	教授
竹之内沙弥香	緩和医療に携わる看護師の育成とその教育方法に関する研究	京都大学大学院・在学中・専門職学位 (MPH)・医療倫理学、がん看護学	京都大学大学院医学研究科医学専攻 社会医学系医療倫理学分野 博士課程	在学中
岡村 仁	緩和医療に携わる理学療法士・作業療法士の育成に関する研究	広島大学大学院・平成3年卒・医学博士、精神医学	広島大学大学院保健学研究科、精神医学、リハビリテーション医学	教授
大滝 純司	緩和医療教育の有効性の評価に関する研究	筑波大学・昭和58年卒・医学博士、総合診療医学・医学教育学	東京医科大学 総合診療医学・医学教育学	教授
高橋美賀子	緩和医療に携わる看護師の育成に関する研究	聖路加看護大学大学院・平成11年卒・看護学修士、がん看護学	聖路加国際病院・がん看護、緩和ケア	専門看護師
岩満 優美	緩和医療に携わる臨床心理士の育成に関する研究	同志社大学文学研究科博士・後期課程単位取得退学・平成10年・心理学博士、心理学	北里大学大学院医療系研究科・心理学	准教授

